

小児科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 小児血液悪性疾患・固形腫瘍患者の発熱性好中球減少症における cefozopran(CZOP)と piperacillin/tazobactam(PIP/TAZO)の有用性の比較

[研究機関] 北海道大学病院小児科

[研究責任者] 井口 晶裕（小児科・助教）

[研究の目的] CZOP と PIP/TAZO の有効性、安全性の検討。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

急性白血病、悪性リンパ腫、その他小児がんの患者さんで、平成21年1月1日から平成22年6月30日の間に発熱性好中球減少症に対してファーストシンまたはゾシンの投与を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、体重、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査、細菌検査）、治療内容、治療反応性、転帰

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院小児科 担当医師 市川瑞穂

電話 011-706-5954 FAX 011-706-7898